



## ほたるの夕べ

ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会

会長 森田 弘

今まで中小学校ビオトープだけで「中地区ほたるを観る会」を行っていましたが、今年初めて他施設で開催しました。

中地区ほたるを観る会を6月10日に開催し、入院中の患者さんを癒すため6月18日午後6時から新小山市市民病院にてほたるの夕べの開催を計画しました。時間の余裕が無いなか、開催準備として市民病院での開催場所の選定、ほたるが飛び交う入れ物作り、ほたるがとまる鉢植えの植物選定、ほたるの生態と活動内容のパネルなど、ほたるボランティアがあつという間に作成準備をしてくれました。感謝申し上げます。

中小学校6年生のほたるの発表に続き、ほたるの鑑賞会が始まりました。入院中の患者さんや見舞いに来られた方々が、沢山詰めかけてくれました。「アー光った!」「初めて見ました。」「ほたるを観たのは何十年ぶりかな...」など、多くの感想をいただきました。児童そしてほたるの会員も他施設での発表を通して、自分たちのほたるの飼育、活動が多くの方々に感動させることを、改めて自覚することができたのではないのでしょうか。

最後に、ほたるの活動を通して、感動を与える喜びを体験したり、この会の原点である自然の大切さを学んだりすることを地域に広げていきたいと思えます。これからも皆様のご協力お願いいたします。



## 稲刈りと脱穀

5月6日の田植え。指先でつまんで植えた小さな早苗が、9月12日の稲刈りまで127日の月日をかさね、稲穂が実りこうべを垂れました。刈り取ったずっしりと重たい稲の一束一束には、小学生の皆さんの田植えやボランティアの方々の田んぼの水の管理・除草・施肥等と、豊かな水流や日差しを提供した中地区の自然の恵みが詰まっています。

「えのき祭」では一緒においしい新米をおにぎりにしていただくことが楽しみです。

### 楽しかったいねかり

3年

9月12日にいねかりをしました。3回目のいねかりでした。かまを持つのは、こわくありませんでした。でも、先生が「けがをしないように、気をつけてね。」と言ったので、手を切らないようにしました。左手に3かぶくらい持って、右手のかまを



いっきにひきました。上手にかることができました。楽しかったです。

～いねかりが  
上手にできて うれしいな～

～刈った稲でハイッ！ポーズ～

### はじめてのだっこく

1年

きょう、たんぼで6ねんせいとだっこくをしました。コンバインで、おこめといねがわかれていって、とてもすごかったです。わたしのせよりおおきかったいねに、さよならをしました。



おこめに「えのきさいにかえてきてね。」といいたくなりました。またやりたいです。

～つかれたな  
いっぱいやって よかったな～

～ずっしりと重たい稲を脱穀機へ～

## 中地区かるた... 中小学校関係の「読み札」紹介

中クラブ ... かつ飛ばせ!! 夢はでかいぞ中クラブ  
中小ほたる... 飛べほたる 願いを込めたビオトープ

中小の榎木... たくさんの 子供を見守り大榎木  
田んぼの学校... 抜けぬ足 早苗と一緒に尻も植え

人気の夜店は早々に完  
売しました。

# ほたるを観る会

今年も各種イベントで賑  
わいました。

中地区恒例の『ほたるを観る会』は6月10日から11日にかけて行われました。ほたるボランティアの皆さんが一週間前から校門前の通りを明るくする提灯取り付けや夜間照明配線・入口の看板設置などの準備をしてくださり、当日はテント設営・テーブルやイスの設置をしていただきました。

式典では、小山市歌斉唱の後、森田弘『ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会』会長・宇賀正自治会連絡協議会長・市村栄美子  
中小学校長の主催者あいさつに引き続き、大久保寿夫小山市長様・板橋一好県議様・大出ハマ市議様からご祝辞をいただきました。

そのあと6年生の素晴らしい活動実践の発表がありました。ほたるの会のマスコット『ホタルン』の作者である荒川奈津希さんが、  
小学生の頃の当時の思い出を話してくださいました。今年のイベントでは中地区の歌人「田波御白」コーナーが展示されました。

保護者や祖父母の皆さんが多数お出でになって、各種イベントに参加され大いに賑わいました。

## ほたるをみる会の思い出 2年

わたしが、ほたるをみる会でうれしかったことは、1ぴきだけだったけど、ほたるをみることができたことです。それと、ほたるかごをつくれたからです。おもったよりもむずかしかったけど、さいごまでつくれたので、うれしかったです。らい年は、ほたるがたくさんみられたらいいです。

～らい年は ほたるをもっと  
みられたらいいな～



～真剣にほたる籠編み～



～ ほたるの折り紙 ～

## きれいだったほたるを観る会 4年

10日に、ほたるを観る会がありました。式典で、6年生による実せん発表がとてもよかったです。イベントでは、友達とクイズや折紙をやりました。全校生が書いた短歌、五七五も学年ごとにかざられていました。最後にビオトープで、ほたるかん賞をしました。とてもきれいでした。飛んでくれてよかったです。

～ほたるたち 飛んでくれて ありがとう～



～「ほたるクイズ」コーナー～



～NHK 放映 DVD 巴波川～



～歌人「田波御白」コーナー～



～「ホタルン」作者荒川奈津希さんのお話～

## 「ほたるを観る会」について

中出張所長 酒寄 広子

今年4月から中出張所長になり、初めて「ほたるを観る会」に参加させていただきました。感想を一言で申し上げますと、「感動」の連続でした。まず、この会を支える地域の皆さまの協力に感動しました。教職員、PTAの方々と一緒に、事前に役員会や総会で話し合いをしたり、廃品回収や、準備で提灯、看板を取り付けたり、後片付けなどを行うのを見るたびに、温かい気持ちになりました。そして、中小学校の児童のみなさんによる展示やプレゼンにも感動しました。「ほたる」を通して、子どもたちと先生方、地域の皆さまと繋がっているのを感じることができました。

また、暗闇のビオトープで、人工的につくられた電気とはちがう「光っては消え、光っては消え」が繰り返される優しい「天然の蛍の光」を、私自身初めて観ることができ感動しました。

この度、15年も続くこの素晴らしい会の一員になれる機会をいただき、とても光栄です。中地区にほたるが飛び交う日がくることを願う一人として、今後も応援して行きたいと思えます。

の光で笑顔にしたいです。そして、一人でも多くの人をほたるの光で笑顔にしたいです。



～患者さんの前で発表する6年生～

## 新小山市民病院でのほたるを観る会

六年 柏崎 奈央

初体験、理科室ではほたるを観る会  
5年  
今年のはじめて、6年生が理科室で育てたヘイケボタルが光っているところを見ました。飛んでいたりと、あみの所にいたり、たくさん光っていて、とてもきれいで感動しました。今年も、わたしたちがホタルの飼育をします。来年は、もっとたくさんさんのホタルが成虫になって、光ってほしいと思います。



～理科室ではほたる観る会～

—うずまのほたる— 広報班

神山 芳典・神山 宜久・田波 耕太郎・安斎 早苗・荒川 日和  
上野 敏晴・金子 弘隆

＝ 編集後記 ＝

今回も無事に「うずまのほたる」第28号を発行することができました。ボランティアさんや児童たちの活動を皆さんに知っていただくためにがんばっていきます。よろしくお願ひします。